

都市再生整備計画

まむろがわえきしゅうへんちく
真室川駅周辺地区

やまがたけんもがみぐんまむろがわまち
山形県最上郡真室川町

令和7年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォーカブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	山形県	市町村名	まむろがわまち 真室川町	地区名	真室川駅周辺地区	面積	12	ha
計画期間	令和	7	年度	～	令和	11	年度	
交付期間	令和	7	年度	～	令和	11	年度	

目標 大目標：真室川駅周辺における活気に満ちあふれる賑わいの創出 目標1：活力ある地域づくり 目標2：交流・憩いの空間づくり 目標3：安全な環境づくり							
目標設定の根拠 都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 かつての駅前地区は鉄道や駅の開設とともに商店街が形成され、商業地として賑わっていたが、現在は、商店の閉店等による空洞化から、駅前のにぎわいが減少している。また、50年間にわたり、地域活動など町民が集い交流する施設として中心的な役割を担ってきた中央公民館は、築50年を経過し老朽化が著しく、既存不適格の施設となっている。しかし、空洞化している駅前地区の地域コミュニティを活性化する上で、中央公民館が担ってきた役割を引き継ぎ、さらに発展させた施設は、駅前地区に必要な不可欠と考える。そのため、多様な交流の場として町民や地域の意見を反映し、他施設との複合化などこれからの駅前地区にマッチした、新たなまちなかにぎわいづくりの拠点の整備を図る。 また、公的不動産の活用策として、町役場庁舎の移転に伴う旧役場庁舎を解体し、近隣の老朽化した消防ポンプ車車庫を集約するとともに、備蓄倉庫機能を備えた備蓄倉庫・避難場所を整備し、強固な地域防災体制を構築する。 さらに真室川駅前スペースを多目的広場として人々が集い、交流できるよう整備し、都市機能の拡散防止と中心市街地の公共・公益サービス機能の維持を図る。							
まちづくりの経緯及び現況 真室川町では、「第6次真室川町総合計画」(令和2年度)において、「生きがいを感じ 幸せを感じるまち 真室川」をまちの将来像と定め、暮らしの質を向上させる水道、公園、住宅などの生活環境の整備を推進し、買い物や通院などの日常生活や産業経済活動を支える基盤である道路などの社会資本の整備や公共交通の維持確保の取り組みを進めている。 また、真室川駅前地区は、町の玄関口であるJR真室川駅を中心に公共施設等の高次都市機能が集積した地区である。人口減少に伴う公共交通利用者の減少や商店街の空洞化が進む一方で、令和4年11月に車で10分程度の東北中央自動車道に接続されたことにより町内における生活圏が広がりを見せている。こうした状況も踏まえ、令和5年度に都市のコンパクト・プラス・ネットワークの取り組みを進めるため、都市再生特別措置法による立地適正化計画も併せた都市計画マスタープランを新たに策定した。							
課題 ・地域コミュニティの活性化、人口の定着及び交流人口の増大を図るための既存市街地における都市基盤等の市街地環境のさらなる向上 ・駅前地区における消防防災施設の老朽化、災害備蓄品のストックヤードの不足、駅周辺エリアのにぎわいの創出							
将来ビジョン(中長期) 【第6次真室川町総合計画】 ・本地区を中心とする市街地では、商工業の振興を目指し、中心市街地や商店街のエリアにおける起業の支援による価値の向上や賑わい創出のためのイベント開催を促進							
都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 都市機能配置の考え方 駅前地区は、町の中心部にあるJR真室川駅を中心に公共施設及び商業等の都市機能が集積し、隣接する8地区によってを形成されている。主要幹線道路である国道344号と県道35号やJR奥羽本線が結節され、地域経済の中心を担っている地区でもある。中心部には商店や役場、中央公民館、JR真室川駅などの公共公益施設が立地しており、これらの既存ストックを有効に活用しながら、賑わい創出のための広場の整備を推進し、コンパクトなまちづくりを目指していく。							
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
中央公民館利用者数	人／年	中央公民館利用者数	「利用したい場」を目指し、地域に活力と賑わいを創るための地域交流活動が行われる貸館の利用者数の向上を図る。	17,663人	R5年度	23,000人	R11年度
駅前広場イベント開催数	回／年	イベント開催回数	駅前広場を整備することによって賑わい及び交流が図られるようイベントを開催する	0回	R5年度	2回	R11年度

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【活力ある地域づくり】 ・地域コミュニティが活性化する活動の場をつくります。 ・多様な情報を集積、発信地としての機能充実を図ります。		【基幹事業】 （地域生活基盤施設 広場） 真室川駅前広場 【基幹事業】 （高次都市施設 地域交流センター） 町民交流センター 【基幹事業】 （高次都市施設 観光交流センター） 町観光交流センター
【交流・憩いの空間づくり】 ・誰からも親しまれ、憩い、集えるゆとりの場をつくります。 ・誰もが利用しやすい、開かれた場をつくります。		【基幹事業】 （地域生活基盤施設 広場） 真室川駅前広場 【基幹事業】 （高次都市施設 地域交流センター） 町民交流センター 【基幹事業】 （高次都市施設 観光交流センター） 町観光交流センター
【安全な環境づくり】 ・安全、安心の拠点をつくります。 ・備蓄倉庫として災害時対応の施設をつくります。		【基幹事業】 （地域生活基盤施設 地域防災施設） 備蓄倉庫・避難場所
その他		

様式(1)-④-1

(金額の単位は百万円)

...A

...B

...C

合計(A+B+C)	2,960
-----------	-------

[illegible]

真室川駅周辺地区(山形県最上郡真室川町)	面積	12 ha	区域	真室川町大字新町の一部
----------------------	----	-------	----	-------------

